

○現行の廃棄物処理計画の進捗状況

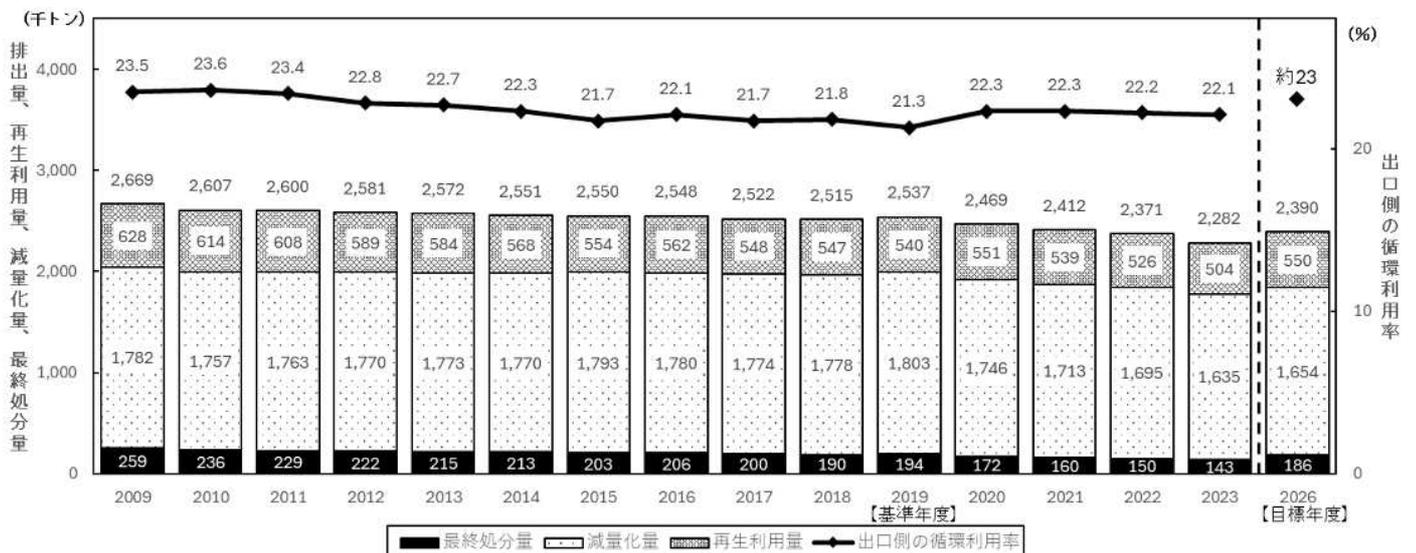
1 一般廃棄物

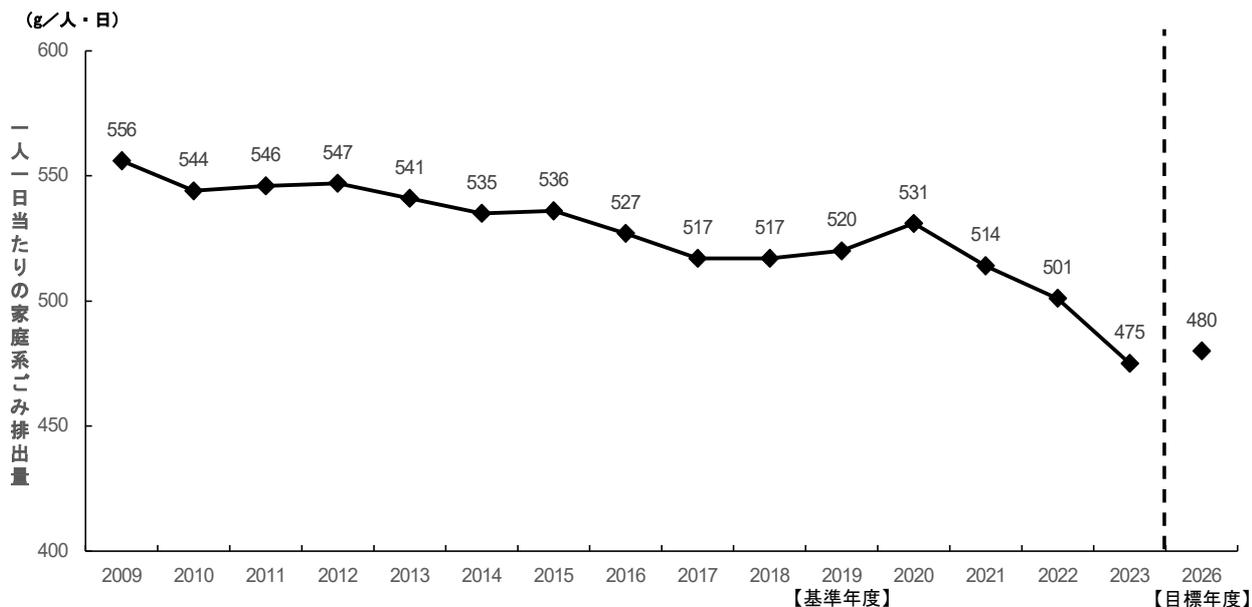
項目	2026年度目標 ()内は2019年度比	基準年度 (2019年度)	2023年度実績 ()内は2019年度比
排出量	239万トン (約6%減)	253万7千トン	228万2千トン (約10.1%減)
出口側の循環利用率※1	約23% (約2ポイント増)	21.3%	22.1% (0.8ポイント増)
最終処分量	18万6千トン (約4%減)	19万4千トン	14万3千トン (約26.3%減)
一人一日当たりの 家庭系ごみ排出量※2	480g (約8%減)	520g	475g (約8.7%減)

※1 廃棄物等の発生量のうち、循環利用量（再使用・再生利用量）の占める割合を表す指標
 $\text{総資源化量} / (\text{収集ごみ量} + \text{直接搬入ごみ量} + \text{集団回収量}) \times 100$

※2 一般廃棄物の一年間の総排出量から、事業系ごみ及び集団回収量、生活系資源ごみを差し引いて、一人一日あたりに換算したもの

- ・2023年度の排出量は2,282千トンで、2019年度の2,537千トンに比べて約10.1%減少しました。経年的に減少傾向にあり、目標を上回りました。
- ・2023年度の出口側の循環利用率は22.1%で、2019年度の21.3%と比べ0.8ポイント増加しています。経年的に横ばい傾向であり、目標には至っていません。
- ・2023年度最終処分量は143千トンで、2019年度の194千トンに比べて約26.3%減少しています。経年的に減少傾向にあり、目標を上回りました。
- ・2023年度の一人一日当たりの家庭系ごみ排出量は475gで、2019年度の520gに比べて約8.7%減少しています。経年的に減少傾向にあり、目標を上回りました。



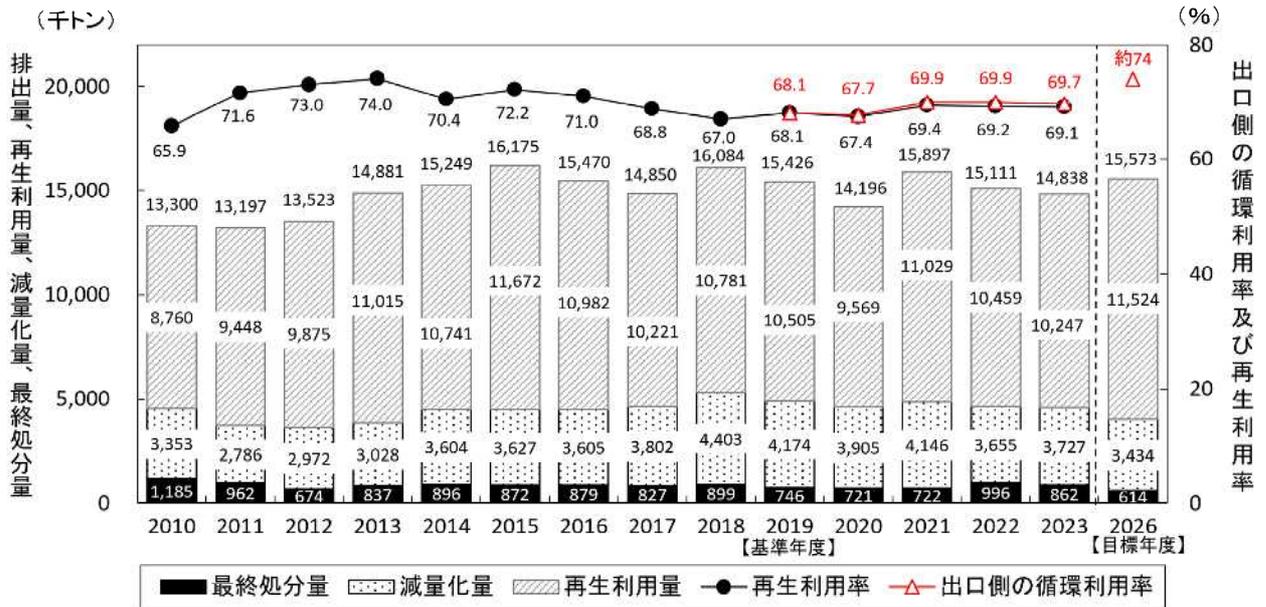


2 産業廃棄物

項目	2026年度 目標 ()内は2019年度比	基準年度 (2019年度)	2023年度 実績 ()内は2019年度比
排出量	1,557万3千トン (約1%増)	1,542万6千トン	1,483万8千トン (約3.8%減)
出口側の循環利用率 ^{※1}	約74% (約6ポイント増)	68.1%	69.7% (1.6ポイント増)
最終処分量	61万4千トン (約18%減)	74万6千トン	86万2千トン (約15.5%増)

※1 廃棄物等の発生量のうち、循環利用量(再使用・再生利用量)の占める割合を表す指標
(再生利用量+金属くず、ガラ陶、鈳さい、がれき類それぞれの減量化量-動物のふん尿の直接再生利用量)
/排出量×100

- ・2023年度の排出量は14,838千トンであり、2019年度の15,426千トンに比べて約3.8%減少しています。経年的に横ばい傾向であり、目標を上回りました。
- ・2023年度の出口側の循環利用率は69.7%であり、2019年度の68.1%と比べ1.6ポイント増加しています。経年的に横ばい傾向にあり、目標には至っていません。
- ・2023年度の最終処分量は862千トンであり、2019年度の746千トンに対して約15.5%増加しています。経年的に横ばい傾向であり、目標には至っていません。



3 食品ロス

<食品ロスの削減目標>

項目	2026年度目標	計画策定時の現状 (2019年度)
食品ロス発生量	433千トン	480千トン
家庭系	189千トン	215千トン
事業系	244千トン	265千トン

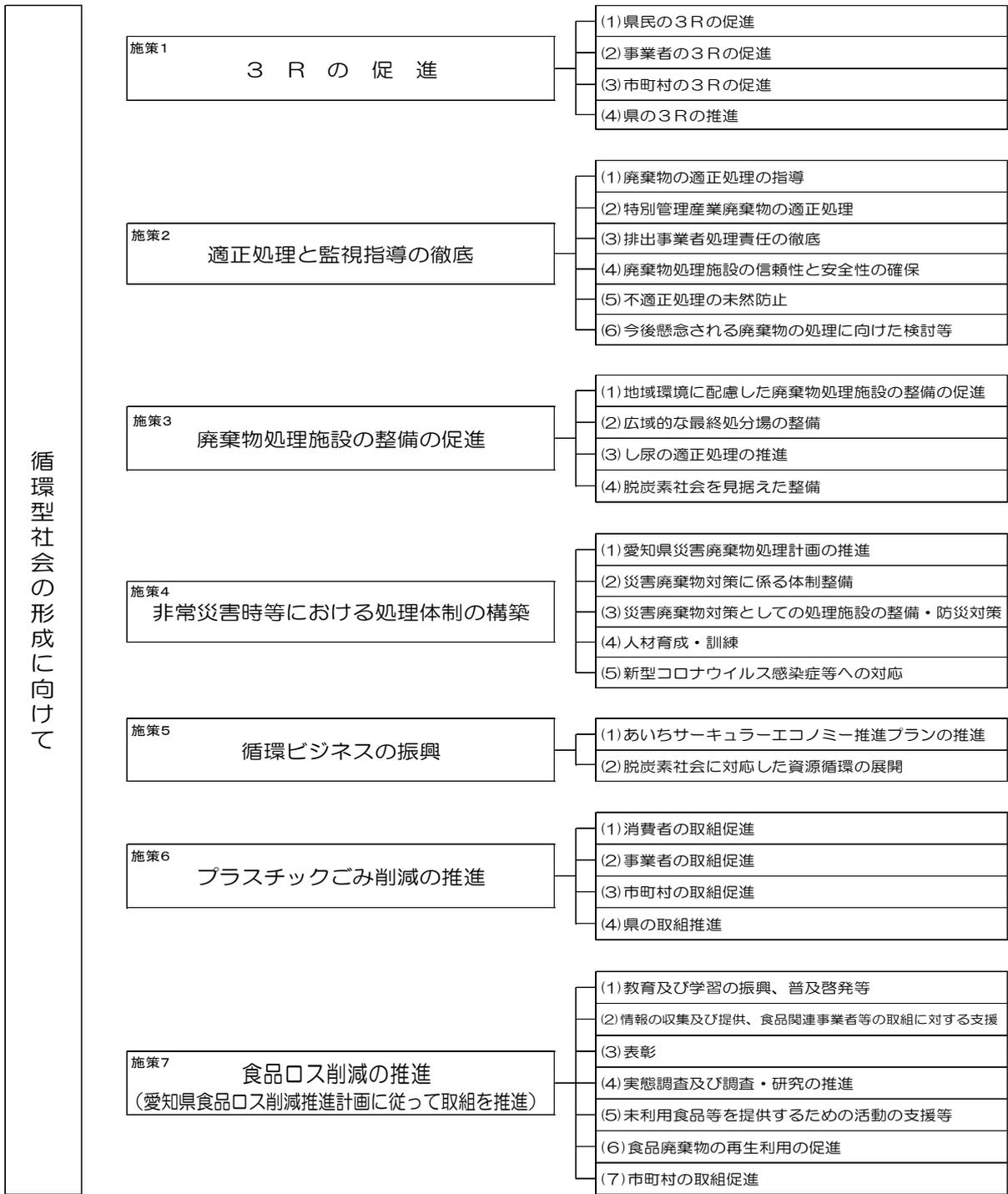
<県民意識の目標>

項目	2026年度目標	計画策定時の現状 (2020年度)
食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合	85%	82.6%

【主な取組 (2022年度～)】

- ・愛知県食品ロス削減 Web サイトによる情報発信 (随時)
- ・食品ロス削減イベントの開催 (毎年度 1 回開催)
- ・食品ロスに関する環境学習プログラムの活用 (イベントでのブース出展 年 3 件程度)
- ・あいち食品ロス削減パートナーシップ制度の運用 (登録事業者数 22 者 (2025 年 12 月末現在))
- ・県内の食品ロスの排出実態把握調査 (2024 年度：家庭系、2025 年度：事業系)
- ・イベント等でのフードドライブの実施 (随時)
- ・市町村への啓発資材の貸出 (随時)

○ 現行の廃棄物処理計画の施策体系図



○廃棄物処理計画の策定経緯

1973.2	愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1973～1977 年度）	産業廃棄物のみを対象とした廃棄物処理計画を策定。	
1977.4	第二次愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1977～1981 年度）		
1982.4	第三次愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1982～1986 年度）		
1987.4	第四次愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1987～1991 年度）		
1992.4	第五次愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1992～1996 年度）		
1997.4	第六次愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1997～2001 年度）		
2002.9	愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2002～2006 年度）		2000年の法改正により、一般廃棄物も含めた廃棄物処理計画を策定。 また、前計画から食品ロス削減推進法に基づく食品ロス削減推進計画を含めて策定。
2007.3	愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2007～2011 年度）		
2012.3	愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2012～2016 年度）		
2017.3	愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2017～2021 年度）		
2022.2	愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2022～2026 年度）		
2026年度	次期愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2027～2031 年度）（予定）		

○国の「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」（2025年2月変更）における、廃棄物の減量化の目標量等の目標値

指標	目標値（目標年度）
①一般廃棄物の排出量	令和4年度比約9%削減（令和12年度） ※40百万トン（令和4年度）→約37百万トン（令和12年度）
②一人一日当たりの家庭系ごみ排出量	約478グラム（令和12年度） ※令和4年度は496グラム
③一般廃棄物の出口側循環利用率	約26%（令和12年度） ※令和4年度は約20%
④一人一日当たりごみ焼却量	約580グラム（令和12年度） ※令和4年度は679グラム
⑤一般廃棄物の最終処分量	令和4年度比約5%削減（令和12年度） ※3.4百万トン（令和4年度）→約3.2百万トン（令和12年度）
⑥産業廃棄物の排出量	令和4年度比約1%増加に抑制（令和12年度） ※370百万トン（令和4年度）→約374百万トン（令和12年度）
⑦産業廃棄物の出口側循環利用率	約37%（令和12年度） ※令和4年度は約37%
⑧産業廃棄物の最終処分量	令和4年度比約10%削減（令和12年度） ※8.7百万トン（令和4年度）→約7.8百万トン（令和12年度）
⑨廃棄物エネルギーを地域を含めた外部に供給している施設の割合	46%（令和9年度） ※令和2年度は約41%
⑩一般廃棄物の最終処分場の残余年数	22.4年分を維持（令和12年度） ※令和4年度は23.4年分
⑪産業廃棄物の最終処分場の残余年数	17年分を維持（令和12年度） ※令和4年度は20.8年分